

# 地場産業の振興と 地域雇用の拡大を目指して

## 産業創出課の主な取り組み

産業創出課は、地場産業の振興や地域の雇用拡大を図るために、3つの係で構成され、次のような業務を行っています。

**商工労政係** 商工業や消費者行政、労働行政、土地開発公社の業務

### 経済循環の活性化

地場商工業の振興と消費需要の市外流出を防ぐため、平成24年度から商品券事業を実施し、市内での消費需要拡大と地域経済の活性化に取り組んでいます。

【商品券事業の取り組みと発行総額】

	商工会商品券事業(5%)	元気創出プレミアム商品券事業(10%)
平成24年度	2億円	実施なし
平成25年度	1億5千万円	5千5百万円
平成26年度	1億7千万円	8千8百万円

### 定住促進対策

市内への定住を積極的に推進するため、土地開発公社が造成した宅地分譲地の販売を促進しています。土地開発公社では、以下の2団地を分譲中です。

【分譲団地】

	区画	分譲面積：㎡(坪)	分譲価格(千円)
国見町 金久分譲宅地	7	229.07(69.29) ～ 374.47(113.28)	2,130～2,883
安岐町 塩屋グリーンタウン	12	293.71(88.85) ～ 490.30(148.32)	4,225～6,707

※販売促進のため、購入希望者を紹介する「購入者紹介報奨金制度」もあります。

**産業創出係** 新産業・雇用の創出、特産品の開発・販売、販路開拓に関する業務

**企業誘致係** 企業誘致の調査・情報収集や立地に関する業務

次ページからは「産業創出係」を中心に行っている事業のうち、地場産品の販路拡大、地場産業の振興を目的に、平成26年度から新たに設立した地域商社「(株)産業創出機構」と連携して行っている取り組みをご紹介します。

# 21世紀型の定住促進・ 産業創出プラットフォーム



## セトルゴ settlegoプロジェクト

「セトルゴ」とは、settle(定住)とgo(行く)の言葉を組み合わせた造語です。人口減少や過疎化の進む国東市内に、起業や創業を目指す若者を誘致し、定住や新規創業の増加・地場産業との交流による地域経済の活性化を目的とするプロジェクトです。

▲Settlegoプロジェクトにより、若者たちが市内で定住し活動中です

## 国東とともに生き、働き、 地域を活性化させる若者たち

平成26年4月から4名の若者が国東市で定住し活動を始めています。彼らは主に平成26年3月に大学を卒業したばかりの大卒1年目です。

ここ数年、大学生の起業志向が強く、たとえ大企業に就職しても、いずれはその経験を活かして独立したいという大学生が増えています。そこで、国東市で農業を中心とした事業化についてプレゼン(提案)し、意欲のある若者を誘致することにしました。

農業や社会人経験のない若者にとって、就農や創業に立ちふさがるハードルは、資金面での不安と農業の栽培技術や経営方法の知識不足です。これらの問題を解決するため

に、自治体が行っている青年就農給付金制度などの助成金を活用し、技術や経営方法を習得を行います。研修終了後は実績のある農家の方や経営者の方々と連携しながら事業化に向けてサポートします。

創業案件は事業承継や遊休施設を中心に多数あり、若い方たちが働くことで、その可能性を地域のみならず一緒に支えてもらうこともこのプロジェクトの目的です。

そのために、起業や創業を目指す若者とは別に、地域の産品の販路拡大や創業案件を調査・報告することを専任とする「地域おこし協力隊メンバー」も、産業創出課に8月より2名着任しています。